

東日本大震災の切実な意味を見失わずに、
我々が復興を確かな方向に進めていくために、
『震災ゴジラ』による日本人の自己分析は
決定的に重要だと思う。

——岩手県知事 達増拓也

岩手県知事 達増拓也

佐藤健志 著

『震災ゴジラ! 戦後は破局へと回帰する』

四六判 上製 304頁 定価 1,800円+税

2011年、ゴジラは架空の存在ではなくなった。この怪獣、1954年から2004年にかけて、日本各地に繰り返し来襲、少なからぬ被害をもたらしてきたが、それは映画という虚構の世界においてのことだった。しかるに2011年3月11日、東北地方の太平洋沖に出現したゴジラはそのまま上陸、沿岸各地に大打撃を与える。

過去半世紀にわたって、人々がゴジラの来襲を夢想しつづけ、この怪獣が引き起こす破壊をエンターテインメントとして楽しむできたという事実と、当のゴジラが現実に出現したとの間には、はたして何の因果関係もないのだろうか？ われわれはどこかで、ゴジラを待ち望んでいたのではないだろうか。

佐藤健志（さとう・けんじ）1966年東京生まれ。評論家。東京大学教養学部卒業。1989年、戯曲『ブローケン・ジャパニーズ』で文化庁舞台芸術創作奨励特別賞を受賞。著書に、小説『チンゲル・韓国の友人』、評論集『ゴジラとヤマトとぼくらの民主主義』『本格保守宣言』『夢見られた近代』、編訳書『フランス革命の省察』など。漫画原作も手がけるほか、ラジオ番組『サウンドトラックス・インターゾーン』では、2年以上にわたって台本・選曲・DJの三役を務めた。

問い合わせ先 株式会社 VNC
171-0043 東京都豊島区要町 2-14-15
電話 03-5926-7624・FAX 03-5926-7625

戦後日本人の集団的意識の問題に警鐘を鳴らして来た佐藤健志氏が、東日本大震災と原発事故後にますます混迷を深める日本人の集団的意識を今こそ直そうとして出版した『震災ゴジラ』。ポップカルチャーという「夢」を題材に日本人の集団的精神分析を進める展開は「はっ」とさせられ、スリリングだ。

東日本大震災の切実な意味を見失わずに、我々が復興を確かな方向に進めていくために、『震災ゴジラ』による日本人の自己分析は決定的に重要だと思う。
——岩手県知事 達増拓也

補充注文カード 貴店名		
注文数	冊	
書名	発売	
震災ゴジラ! 戦後は破局へと回帰する	星雲社	
著者 佐藤健志	発行	
VNC		
定価1890円 (本体1800円+税5%)		
年	月	日



ISBN978-4-434-18330-0
C0095 ¥1800E

ご注文は星雲社へ
FAX 03-3947-1617



恐ろしく面白い!

この「自滅の黙示録」から目をそらすな。

——中野剛志(評論家)

3・11は始まりにすぎない。真の敗戦はこれからだ!